

北九州市民の会ニュース

志位委員長
黒崎で演説

声をあげれば政治は変わる



右から、まじま候補、志位委員長、来田候補、にひ候補

6 月 24 日 (金)、黒崎駅で志位和夫演説会がひらかれました。最初に、来田時子・参院比例代表候補、まじま省三・参院福岡選挙区候補、にひそうへい・参院比例代表候補がそれぞれ訴えました。

志位委員長は、この間の党首討論での論戦の到達点を交えながら、平和の問題、暮らしと経済の問題をたっぷり演説。このなかで、核兵器禁止条約第 1 回締約国会議

の「ウィーン宣言」の内容も紹介しつつ、会議に背を向けた岸田政権を批判。「日本共産党の躍進で核兵器禁止条約に参加する政府をつくろう」と呼びかけました。

物価高騰のなかで、消費税減税の要求にあれこれ理由をつけて冷たい態度をとる岸田首相に対し「人の痛みがわからない政治だ」と指摘。

他方、昨年の総選挙で岸田首相は企業の男女賃金格差の公表に抵抗したが、政府が 5 月に公表を指示した事実を紹介し「声をあげれば政治は変えられる」と強調しました。戦前に他の政党が「大政翼賛会」に合流し侵略戦争を推進したのにたいし、日本共産党は命がけで反戦平和をつらぬいた唯一の政党だったことを、小林多喜二、野呂栄太郎、伊藤千代子ら党の先輩の名前も挙げて紹介。軍拡の大合唱に反対を貫いてこそ、人びとの命と暮らしをまもることができるとのべ、日本共産党への支持を力強く訴えました。

参院選 (7 月 10 日投票) 日本を危機から救う党大きく

参院選がきょう公示され、7 月 10 日投票に向け選挙戦の火ぶたが切られます。ロシアのウクライナ侵略という暴挙が続く中で、平和と戦争をめぐる各党の立場が問われる選挙です。暮らしを直撃している物価高騰から国民を守ることも焦眉の課題です。岸田文雄政権は、危機に乗じて大軍拡と改憲の加速を企てる一方、国民の苦難打開には有効な対策を示しません。岸田政権に「ノー」の審判を下し、希望が持てる新しい政治を切り開くために、日本共産党の躍進が極めて重要になっています。

物価高騰から国民を守る

選挙公示直前のメディアの世論調査で、岸田内閣の支持率が低下しています。物価高対応への厳しい批判です。共同通信 (20 日付「東京」など) では 79・6% が「対応が十分とは思わない」と回答し、「日経」(同日付) でも 69% が「評価しない」と答えました。物価高騰のさなかに年金を削る冷たい姿勢にも怒りが渦巻きます。

岸田政権は国民の苦しみにあまりに冷淡です。小手先の対策に終始するばかりで、最も効果的な消費税減税には背を向けています。なにより、物価高の大本にあるアベノミクスの「異次元の金融緩和」を見直そうとしません。

日本共産党は、金融頼みの政策ではなく、实体经济をよくする政策への抜本的な転換を求めています。アベノミクスで大企業がためこんだ内部留保への課税などを通じて「賃金が上がる国」にする道を具体的に提起しています。これは日本経済全体の健全な成長にもつながります。日本共産党の勝利で「やさしく強い経済」を実現していくことが急がれます。(中略)

19 日投票の東京都杉並区長選では、市民と野党が力を合わせてたたかった新人の岸本聡子さんが自公の推す現職を僅差で破って当選しました。悪政に対して声を上げれば政治は動きます。

日本の前途がかかった大切な参院選です。平和と憲法を壊す逆流と正面からたたかい、国民の苦難軽減のために尽力し、市民と野党の共闘の推進を目指す日本共産党を大きくしていただくことを心から呼びかけます。

(しんぶん赤旗主張)



平和をあきらめない北九州ネット定例アピール行動

気候変動問題に取り組むメンバーと連携

6月19日(日)、平和をあきらめない北九州ネットの定例アピール行動。本日も、小倉駅前と黒崎駅前の2ヶ所同時開催です。黒崎駅前のアピール行動には、気候変動問題に取り組む Fridays For Future Fukuoka のメンバー二人が参加。それぞれ、選挙に行こうという呼びかけや、原発の問題などを訴えましたが、「せっかく来たんやから、一回だけじゃあれなんで、もう一回訴える?」って聞きましたら「何回でもやりたいです!」と、やる気満々の返事。終わりの方でもう一回スピーチしました。いろんな話をされていて、今後もしもいろいろ連携してやれそうない雰囲気になりました。それにしても日曜日の黒崎駅前は寂しい。北九州市の今後は僕らの天国になるんでしょうか。(竹内俊一氏 FB より)

北九社保協通信

報告・資料集 2022年6月号
6月27日 事務局発行

「生保引下げは違憲」熊本地裁での勝利判決をうけ、

元気に生保・年金裁判の宣伝行動を実施!

熊本地裁での「生保基準引き下げ取消訴訟」の画期的な勝訴判決に勇気をもらい、「生保・年金裁判」を支援する会(いんぷん・福岡)北九州の宣伝行動を5月30日(月)に実施しました。当日は生保の天候となり中止も検討しましたが、「熊本の判決を力に訴えよう!」と生保会・年金者組合・北九社保協から総勢18名と多くの原告や支援者が参加。雨で署名やビラ配布は出来ませんでしたが、道行く市民に向かってスタンディングアピールを行いました。現在、福岡では地裁から高裁へと闘いの場を移し奮闘しています。



雨の中でも元気に宣伝行動(門司駅前)

反貧困九沖ネット統一行動で「生保110番」を。

コロナ電話相談会は第14回目を実施。物価高騰が生活を直撃。



久しぶりにTV取材も入った生保110番

反貧困九沖ネット統一行動に合せ5月31日(火)に2ヶ月に1度、継続実施している「生活保護110番」に取り組みました。今回は久しぶりにTVニュースも流れ、事前告知の新聞記事や地域配布のチラシを見た方を含め17件の相談がありました。「78歳。女性。現在、年金が最低生活費に満たないため不足分を生保受給中。物価も上がり、低額年金に加え保護費も少ないので生活が苦しい。」「同じく年金と生活保護を受給中の70歳。男性。せめて夏のクーラー代や冬期加算を増やしてほしい」といった物価高騰を受けての切実な相談が他にも多数寄せられました。また、「子供から援助を受けている70歳。女性。不況で収入が減って援助できなくなったとの連絡があり役所に生活保護申請に行くと、子供がいたらダメと追い返された」さらに「精神障害で仕事ができないという50歳。男性。昨年12月に離婚。現在は障害年金のみで生活。身内からも縁を切れられ生保の相談に行ったが、3親等まで収入調査をされるといわれ申請を断念した。」など、相変わらず厳しい状況での対応や扶養照金の横行が後を絶たない役所の実態が浮き彫りとなりました。また、6月11日(土)にはコロナ相談会(第14回)を実施しました。福岡をはじめ九州・沖縄一円から16件の相談がありました。残念ながら地元でのマスコミ取材は無かったものの全国ニュース放映後に相談電話が殺到しました。やはりここでも物価上昇に伴う生活への影響や今後の不安に対する相談が多数を占めました。また、長らくコロナ禍で国の対応への不満や意見も出されました。



全国ニュース後、一斉に鳴り出した相談電話

原水禁・平和行進小倉地区実行委員会ニュース (7月1日号)

7月19日(火)~21日(木) **平和行進 暑い折ですが、区間限定で歩きます!**

● 7月19日(火) 戸畑コース(車は県労連車)

16時00分 境川で、戸畑区実行委員会から行進を引き継ぎ、小倉北区に向けて行進出発。

17時10分 中央図書館南芝生広場到着、到着集会して、17時30分散散。車は健和会駐車場で【泊】

● 7月20日(水) 小倉南コース(車は県労連車)

12時00分 狸山で行橋市実行委員会から「代表引き継ぎ」。

14時00分 下曽根駅出発集会~県労連車で宣伝しながら、市内を走行。随行車1台。

16時30分 小倉民商事務所前行進出発 中央図書館前に向かう。

17時50分 中央図書館南芝生広場・長崎の鐘前着(到着集会・歌声や各団体からの発言)車は、健和会駐車場へ【泊り】



● 7月21日(木) 門司コース(車は県労連車)

9時10分 出発集会(北九州市役所正門前バス停付近)

9時30分 行進出発~太陽の橋~堺町公園・大阪町~10時10分砂津2丁目新幹線ガード下

10時20分 行進出発~11時00分手向山到着、門司実行委員会に引き継ぎ

● 平和の波行動・8月6日(土) 11時小倉駅前で宣伝行動します。

原水爆禁止世界大会・長崎大会

8月9日(火) オンラインで参加しましょう 10時:日本共産党門司小倉地区委員会2階

参加費:2,000円(世界大会の費用捻出のため費用負担をお願いします。)

*問い合わせ先:小倉地区実行委員会事務局

事務局長:細川(健和会労組TEL581・1864)

事務局次長:野瀬(市職労TEL090・3418・5773)

*原爆写真展:小倉地区平和委員会が、8月5日(金)~8月10日(水)まで、市立生涯学習総合センター1階ロビーで展示します。

